

昭和53年秋季年会

講演予稿集

於 仙台市民会館

昭和53年10月12日(木)~14日(土)

日本天文学会

日本天文学会 1978 年秋季年会

プログラム

日時 昭和 53 年 10 月 12 日 (木) ~ 14 日 (土) 午前 9 時 30 分 ~ 午後 6 時
 場所 仙台市民会館 (下図参照) 電話 0222-23-9761 (会場受付), 0222-62-4721 (市民会館代表)
 〒464 仙台市桜ヶ丘公園 4-1

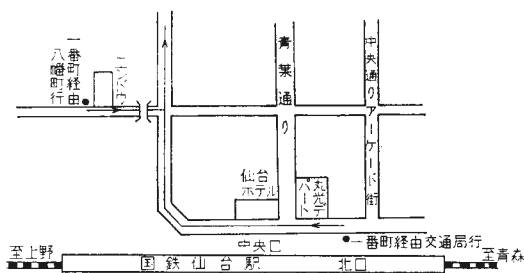
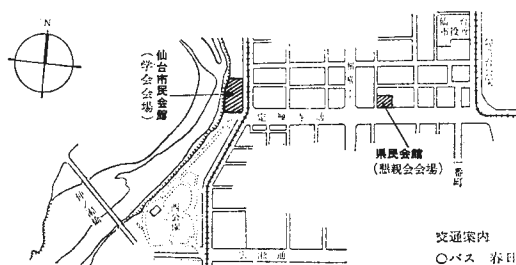
午前	9 時	10	11	12	午後	1	2	3	4	5	6	講演番号
10月12日 (木)	恒 星			大塚奨学金 選考委員会	高エネルギー天文学 観測・測定装置, 情報処理							1 ~ 42
10月13日 (金)	星間物質・星雲 銀河系・恒星系			写真	理事会			銀河系・恒星系 銀河, 宇宙論			懇親会	43 ~ 85
10月14日 (土)	太 陽						太陽系, 天体力学 位置天文学					86 ~ 126

- ☆ 講演時間は一題について 7 分です。講演者は割当時間を厳守して下さい。
- ☆ スライドは透視した時に正しい上下左右関係になるようにして、その手前側上方に講演番号と氏名、映写順序番号を書き、下縁に 5 mm 位の幅の赤線をつけて下さい。ピラは用いず、スライドは講演時間内に終了できる枚数にして下さい。オーバーヘッドプロジェクターも用意いたしますので希望の方は御利用下さい。
- ☆ 今回は講演開始が午前 9 時 30 分。講演終了が午後 6 時です。
- ☆ 年会経費の一部にあてるため、出席者から参加費を徴収します。一般 500 円, 学生 300 円
- ☆ 12 日午前の講演終了後大塚奨学金選考委員会, 13 日記念写真撮影後理事会を行います。
- ☆ 記念写真撮影は 13 日午前の講演終了後行います。
- ☆ 懇親会は 13 日午後の講演終了後県民会館において行われます。

お知らせ

天文学研究連絡委員会将来計画小委員会の主催により、年会会期を利用して、10 月 12 日午後 6 時より年会会場にて、「将来計画についての意見交換会」(公開)が開催されます。

仙台市民会館案内図



交通案内
 ○バス 春日町站下车(徒歩 5 分)
 ○市電 市民会館前下車

仙台市桜ヶ丘公園 4 番 1 号
 〒980 TEL 022-624721-4

第1日 10月12日(木) 午前9時30分より

1. フーリエ分光による低温度星の赤外スペクトル(Ⅱ): 田中 濟, 辻 隆, 小平桂一, 渡辺鉄哉, 尾中 敬(東大理)
2. 炭素星スペクトルの解析法(Ⅱ): 平井正則(福岡教育大)
3. Be 星のスペクトル変化についてⅠ: 小暮智一, 門 正博, 平田竜幸(京大理)
4. β Cephei star ν Eri における van Hoof 効果について: 齊藤恭司, 平田竜幸(京大理)
5. 対流の一般的取扱い——水平分枝星の進化: 有本信雄(東北大理)
6. $0.8 M_{\odot}$ 星の進化と CNO 同位元素 Ⅱ: 上西啓祐, 荒井賢三(熊本大理)
7. M 67 の疑似水平分枝星の変光検出(Ⅲ): 下田真弘(東京学芸大)
8. 超巨星の外層模型から求めた脈動周期: 竹内 峯(東北大理)
9. 新星の赤外・可視光度変化について(Ⅱ): 関 淳二, 山本哲生(京大・理)

(休 憩)

10. 白鳥座 CH 星の連星モデル: 山下泰正, 前原英夫(東京天文台)
11. アルゴル型半分離連星の周期変化と BH モデルの問題点: 岡崎 彰(東大理)
12. 近接連星 Metallic-line Star IW Per の視線速度曲線について: 金 斗 煥(東大理), 北村正利(東京天文台)
13. 恒星の自転速度: 上杉 明(京大理), 福田一郎(金沢工大)
14. 相対論的回転星: 江里口良治(東大教養)
15. 圧縮性回転星に及ぼす影響: 福島登志夫, 江里口良治(東大理), G. S. Bisnovatyi-Kogan (ИКИ), 杉本大一郎(東大教養)
16. 回転する中性子星の安定性 Ⅱ: 荒井賢三, 上西啓祐(熊本大理)
17. 電子捕獲による中性子星の形成: 宮路茂樹(東大教養), 野本憲一(茨城大理), 杉本大一郎(東大教養), 横井幸一(ダルムスタット工科大)
18. 強い重力場中の衝撃波の伝播について: 石塚俊久(茨城大理), 田中靖夫(茨城大教育)

第1日 10月12日(木) 午後2より

19. X線によるかに星雲の形状の観測: 小田 稔(宇宙研), 宮本重徳(阪大理), 小川原嘉明, 牧島一夫(宇宙研), L. E. Peterson, R. M. Pelling (カリフォルニア大)
20. 古い超新星残骸のX線スペクトル(Ⅱ): 伊藤 裕(京大理)
21. 銀河軟X線スペクトラムの観測(Ⅱ): 大橋隆哉, 井上 一, 小山勝二, 松岡 勝
22. 超軟X線強度分布と中性水素密度の相関: 国枝秀世, 早川幸男, 岩波秀樹, 長沢文昭, 山下広順(名大理)
23. 堂平 91 cm 鏡モニター測光系について: 三上良孝, 野口本和, 山口達二郎(東京天文台)
24. 硝酸銀浴法による I-N 乾板の超増感実験: 青木 勉, 浜島清利, 野口 猛(東京天文台)
25. 写真乾板の適正露出と適正現像: 征矢野隆夫, 浜島清利(東京天文台)
26. Forming Gas による増感処理された IIIaJ 乾板の DQE: 佐々木敏由紀(京大理)
27. 木曾のシュミット原板カタログ管理システム: 野口 猛, 前原英夫, 征矢野隆夫(東京天文台)
28. 多色偏光測光装置Ⅱ. 制御系: 昆野正博(京大理), 山口達二郎, 野口本和, 西野洋平, 菊池 仙, 三上良孝(東京天文台)
29. フェブリーペロー干渉分光計の実験: 安藤裕康(東京天文台)
30. 恒星文献検索プログラムの公開利用: 西村史朗(東京天文台)

(休 憩)

31. 上松のシステム向上(Ⅱ) 偏光観測システム: 小林行泰, 川良公明, 佐藤修二, 奥田治之(京大理)
32. $10\text{ m}\phi$ アンテナ追尾誤差電圧スペクトラムによる大気の入射角変動の予測: 小池国正, 河野宣之(電波研鹿島)
33. 鹿島・平磯間実時間相関システムについて: 高橋富士信, 河野宣之, 川尻轟大, 川口則幸, 吉野泰造, 小池国正(電波研鹿島支所)
34. 広視野フェーズド・アレイ: 大師堂経明(早大教育)

35. 領域制限のある像の超解像: 平林 久 (東京天文台)
36. Deconvolutional ART: 藤下光身, 河鱒公昭 (名大理), 石黒正人 (名大空電研)
37. 17 GHz 相関型干渉計による太陽観測: 中島 弘, 塩見靖彦, 桑原龍一郎, 沢 正樹, 関口英昭, 饗場 進 (東京天文台)
38. 17 GHz 相関型干渉計の位相自動較正・像合成: 小杉健郎, 中島 弘 (東京天文台)
39. 静止衛星に起因すると思われる混信: 鰐目信三, 高柳利男, 鳥居近吉 (名大空電研)
40. 位相ロック発振器の相対位相安定度について: 内藤芳一, 鳥居近吉, 石黒正人 (名大空電研), 阿部安宏 (日本通信機)
41. UHF 太陽風観測装置: 小島正宜, 柿沼隆清, 鷲見治一, 石田善雄, 丸山一夫 (名大空電研)
42. フレア軟X線輝線スペクトル観測装置: 田中捷雄, 西 恵三, 守山史生 (東京天文台)

第 2 日 10 月 13 日 (金) 午前 9 時 30 分より

43. 球対称反射星雲による反射の散乱関数: 上野季夫 (金沢工大)
44. 収縮する媒質の重力不安定性の非線型成長: 金成雄三 (東北大理)
45. Accretion Flow の安定性: 相川利樹 (東北大理)
46. 星間分子雲中のエネルギー輸達と乱流: 出口修至, 福井康雄 (東大理), 米山忠興 (東洋大)
47. OB アソシエーションの形成と磁場: 中野武宣 (京大理)
48. ボック・グロビュール L970 の減光法則: 富田良雄 (京大理)
49. 塵粒子の凝集実験: 尾中 敬, 中田好一, 上條文夫 (東大理)
50. 新星爆発後の塵形成と電離: 成相恭二 (東京天文台), 山本哲生, 佐藤修二 (京大理)
51. 超新星残骸の進化: 福長正考, 佐場野裕 (東北理)

(休 憩)

52. 超新星の残骸 CTB 1 の周りの中性水素の殻: 佐藤文男 (千葉県教育センター)
53. 特異輝線星, HBV 475 の電離機構について: 田村眞一 (東北大理)
54. 銀経 30 度付近の CO 雲の観測: 鷹野敏明, 小川英夫, 面高俊宏, 林 良一, 加藤龍司 (東大理), 小平真次, 石井孝一 (木更津高専), 稲谷順司 (東大理)
55. SiO メーザの時間変化: 浮田信治, 近田義広 (東大理), 宮沢敏輔, 宮地竹史, 海部宣男 (東京天文台)
56. 銀河系中心領域の分子線形成と分子化学 (Ⅲ): 福井康雄 (東大理)
57. 赤外線による銀河面の survey: 川良公明, 小林行泰, 佐藤修二, 奥田治之, 舞原俊憲 (京大理), 飯島 孝 (名大理), 浜島清利, 石田蕙一 (東京天文台)
58. 気球による銀河面の遠赤外線観測: 小田直樹, 舞原俊憲, 奥田治之 (京大理)
59. 赤外線でみた我が銀河のディスク: 宇山喜一郎, 早川幸男, 松本敏雄, 野口邦男, 村上 浩 (名大理)
60. 南天銀河の近赤外線観測: 村上 浩, 早川幸男, 松本敏雄, 野口邦男, 宇山喜一郎 (名大理), J. A. Thomas (メルボルン大), 山上隆正, 太田茂雄 (東大宇宙研)

第 2 日 10 月 13 日 (金) 午後 2 時より

61. 炭素星と晩期 M 型星の掃天観測: 浜島清利, 石田蕙一, 岡村定矩 (東京天文台), 渡辺鉄哉 (東大理)
62. カンオペア領域での M, C 型星のサーベイ: 市川 隆 (京大理)
63. 球状星団の質量光度比について: 石田蕙一 (東京天文台)
64. 重い天体のまわりの星の系の振舞: 渡辺好夫, 稲垣省五 (京大理)
65. 連星系と単独星との近接遭遇の数値実験: 吉澤正則 (京大理)
66. 降着円盤の脈動不安定性: 加藤正二 (ケンブリッジ大, 京大理)
67. ポリトロープのガス状 Toomre 円板の大局的不安定性. (I) 理論: 青木信仰 (東京天文台)
68. ポリトロープのガス状 Toomer 円板の大局的不安定性 II. 数値解析: 野口正史 (東大理), 青木信仰 (東京天文台), 家 正則 (東大理)
69. 無限に薄い円盤の重力熱力学カタストロフ: 蜂巢 泉 (東大理)

70. 自己重力系の Vlasov シミュレーション: 藤原隆男 (京大理)
71. Fokker-Planck 方程式のモーメントによる球状等温恒星系の熱的安定性について: 西田美継 (京大理)
72. 銀河の渦状衝撃波: 松田卓也 (京大工), S.A. ソレンセン (ロンドン大)
73. ペルセウス銀河団の回転の可能性について: 平山雄三, 池内 了 (北大理)

(休 憩)

74. シュミット望遠鏡による紫外超過銀河の探査: 高瀬文志郎, 野口 猛 (東京天文台)
75. 赤いセイファート銀河の5色測光: 小平桂一, 家 正則 (東大理), 西村史朗 (東京天文台)
76. 電波源の Depolarization: 井上 允 (東大理), 田原博人 (宇都宮大教育)
77. 楕円銀河の力学模型: 佐藤耕一 (東大理), 宮本昌典 (東京天文台)
78. 円盤状銀河の渦状モードスペクトル: 家 正則, 浜部 勝, 渡辺正明 (東大理), 岡村定矩 (東京天文台)
79. Spherical dust shell の重力崩壊の maximal slicing: 前田恵一, 中村卓史, 観山正見, 佐々木節 (京大理)
80. X, γ 線で見た銀河初期: 田中 裕 (京大理), 池内 了 (北大理)
81. IMF の重元素組成依存を考慮した銀河進化モデル: 大道 卓, 吉井 譲, 斉尾英行 (東北大理)
82. 電波銀河における相対論的爆風 II: 横沢正芳, 坂下志郎 (北大理)
83. QSO の磁化アクリションディスク模型: 高原文郎 (京大理)
84. スーパークラスターからのX線放出: 池内 了, 平山雄三 (北大理)
85. 宇宙の進化と熱力学について: 杉本大一郎 (東大教養)

第3日 10月14日(土) 午前9時30分より

86. 太陽粒状斑の寿命: 川口市郎 (京大理)
87. Zeeman Profile の新解析法: 牧田 貢 (東京天文台)
88. 黒点及び Limb の偏光 (マグネットグラフ実験観測): 西 恵三, 牧田 貢, 浜名茂男 (東京天文台)
89. 太陽周期長期変動の非線型ダイナモ理論と55年周期的変動の発見: 吉村宏和 (東大理)
90. 太陽電波の輝度温度と彩層コロナ遷移領域の構造: 神野光男, 船越康宏 (飛騨天文台), 田中利一郎 (新潟大教育)
91. 静止型紅炎の微細構造の大きさ: 平山 淳, 中込慶光 (東京天文台)
92. Dark filament への物質供給機構について: 内田 豊 (東京天文台)
93. 1974年9月10日の白色光フレアについて: 日江井栄二郎 (東京天文台)
94. フレアに伴う熱的電磁波の統一的解釈: 永井福郎 (東大理)

(休 憩)

95. 1977年9月7日ミリ波アウトバーストについて: 加藤龍司, 面高俊宏, 小川英夫, 河鱈公昭, 藤下光身 (名大理)
96. 1978年7月21日の太陽電波強度の急激な減少: 柴崎清登, 鯨目信三, 石黒正人, 高柳利男, 鳥居近吉 (名大空電研)
97. 太陽電波バーストモデル (II): 面高俊宏 (名大理)
98. 太陽電波 III 型バーストの発生機構と0.3~1 AUにわたる観測: 菊地 弘 (Max-Planck 研究所・日大理工)
99. 太陽磁気ループ内のホイッスラー不安定: 面高俊宏, 川村憲治, 鈴木育郎 (名大理)
100. シックターゲットモデルにおける波の影響: 川村憲次, 鈴木育郎 (名大理)
101. 硬X線スパイクバーストのマイクロ波スペクトル: 大木健一郎 (東京天文台)
102. 大気減光観測から求めたエアロゾル層高: 田鍋浩義 (東京天文台), J. L. Weinberg (New York 州立大)
103. 写真による流星放射点の高精度決定: 長沢 工 (東大地震研)

第3日 10月14日(土) 午後2時より

104. クレーター生成と月物質の宇宙線年代: 入山 淳 (中部工大), 本田雅健 (東大物性研)
105. 3.4 mm波による1978年3月24日の皆既月食の観測: 秦 茂, 宮地竹史 (東京天文台), 福井康雄, 近田義広 (東大理)
106. 2.6, 3.4 mm および 6.0 mm 波による月食観測の比較: 中村 強, 小平貞次, 石井孝一 (木更津高専), 稲谷順司 (東大理), 秦 茂, 宮地竹史 (東京天文台), 福井康雄, 近田義広 (東大理)

107. 105 cm シュミットによる小惑星・彗星の探査: 香西洋樹, 古川麒一郎 (東京天文台)
108. 小惑星の族についての一考察: 古在由秀 (東京天文台)
109. 火星の極冠について (1): 鳴海泰典 (九州東海大工)
110. 木星デカメータ波強度変動: 前田耕一郎 (兵庫医大物理)
111. 土星の環の光学的モデルについて: 川田剛之 (金沢工大)
112. KS 正則化変換の新しい導出: 吉田春夫 (東大理)
113. 衛星の長年摂動: 堀 源一郎 (東大理)
114. 逆行衛星の捕獲の可能性について: 谷川清隆 (緯度観測所)
115. 月運動論の惑星項の計算: 久保良雄 (水路部)

(休 憩)

116. ニュートンの運動方程式の拡張 (Ⅲ). 原子核: 全 麒在 (朝鮮大理)
117. 火星の軌道改良 (予備報告): 新美幸夫, 古川麒一郎 (東京天文台)
118. 東京 PZT の緯度観測に現われる年周項: 藤井 繁 (東京天文台)
119. 地球自転と月の運動の永年減速比について: 飯島重孝, 中嶋浩一 (東京天文台)
120. IPMS 極位置による極運動周期 2 ピーク性: 関口直甫 (東京天文台)
121. ILS データによる星表及び章動補正 (Ⅱ): 真鍋盛二, 酒井 俐, 笹尾哲夫 (緯度観測所)
122. 非剛体地球モデルの章動に基づく ILS Z 項: 横山紘一, 石井 久, 佐藤イク (緯度観測所)
123. 極運動の時系列モデル: 大江昌嗣, 後藤幸夫 (緯度観測所)
124. 1965~1969 年の UTC-JJY について: 堀合幸次 (緯度観測所)
125. NPZT 星国際共同子午環観測星表の編纂 (I): 安田春雄, 古川麒一郎, 原 寿男, 宮内良子, 鈴木駿策 (東京天文台)
126. 核を持つ地球の回転運動理論: 高木重次